

北海道静内農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	アグリマイスター顕彰制度を推奨し、農業教育の質を向上させます。	A	(1)教科間で連携し、農業技術検定をはじめ、各種資格合格率の向上に向けた知識の習得を図ります。 (2)農業クラブ活動を活性化させ、日々の記録や各大会の入賞率向上を図ります。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)ASIAGAP認証を受けた生産管理工程を継続させ、グローバルな農業に関する視点を向上させる。 (2)各諸国との連携事業を充実させ国際教育を推進する。	B	(1)ASIAGAP認証を受けた生産管理工程の実施、掲示教育の実施を徹底に取り組みます。 (2)新ひだか町が姉妹都市提携を結んでいるアメリカ合衆国ケンタッキー州レキシントン市との交流の推進を図ります。
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	地域で栽培・飼育されている者を取り入れた学校農場経営を实践し、地域の担い手や地域農業を支える人材を育てます。	A	(1)高等学校OPENプロジェクトを通し軽種馬産業の知識・技術を深めるとともに、軽種馬の魅力を伝える機会をつくり、地域産業を支えます。 (2)地域の農家と連携し、気候・環境に適した品種の研究に取り組みます。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	栽培・飼育・加工・販売・活用の学習を通して6次産業化に対応した人材を育てます。	B	(1)原材料の生産から加工、販売までを学習するフードシステム学習を通して多種多様な進路選択ができる機会をつくります。 (2)関係機関と連携を図り、地域の農業関連産業について学ぶ機会をつくります。
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	本校に隣接する二十間道路桜並木を通して環境保全について考え、地球環境を守る人材を育てます。	A	二十間道路桜並木の保全活動を推進し、地域資源の保全に努めます。
	⑥「食農」教育を推進します。	『食農』の重要性・持続性について学ぶとともに、地域教育機関との連携を図り、食農交流の機会を設け、『食農』への興味・関心を高める。	A	(1)GAP・フードシステム学習を通して原材料生産の重要性、生産管理工程の重要性を学ぶ機会をつくります。 (2)小学校との交流学習や新ひだか町との連携事業を通し、『食農』について発信する機会をつくります。
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	基幹産業、観光資源を活用した学習を展開し、地域の活性化に寄与する人材を育成する。	A	軽種馬産業、施設園芸、観光資源である桜等を題材とし、各研究班が地域課題をプロジェクト活動として取り組みます。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	学校を開放する機会や本校の教育成果を発信できる機会を積極的に設ける。	A	(1)公開授業、各種校内大会を地域の方々に案内し、本校の教育活動を発信します。 (2)小学校等との交流事業や販売会等を積極的に行い、地域との交流を深めます。
V 地域防災を推進する学校	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	地域の協力を得ながら地域農業や地域社会の持続的・安定的に寄与できる産業人の育成に努めます。	A	『農業インターンシップ』『デュアル派遣実習』を通して農業学習を深化させるとともに勤労観を養います。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	防災意識を常に持ち、自助、共助、公助連携し、『命を守る』意識を高める指導の徹底を図ります。	B	(1)本番を意識した防災避難訓練を行い、事後学習では過去の災害教訓を学ぶ機会を設けます。 (2)危機管理マニュアルを定期的に確認し、共通認識・見直しを図る機会を設けます。